

妹ができて変わったこと

御津北部小・6 遠山眞永

ぼくには去年、妹ができました。妹ができてからの一年でぼくの毎日は、がらっと明るくなりました。ぼくが家に帰ると、いつも笑顔でむかえてくれます。こっちも笑顔を返すと、さらに笑ってくれます。妹は、いつもおもちゃで遊んでいます。遊んでいるときでも、名前を呼ぶと、すぐにハイハイをして寄って来てくれて、いつもかわいいなと思いがら見えています。妹がいつもいる部屋もおもちゃや絵本などでカラフルになり、妹ができたことで少しにぎやかな感じになりました。たまに、おもちゃや絵本で遊びながらいつしよにしているだけで楽しくなります。泣いていてきげんが悪いときにだっこをしたりあやしてあげたりして、泣き止んでくれるといっしょにいてうれしいです。また、変顔をするときも元気が出ます。

最近、暑いのでよくおばあちゃんちに行って、水遊びをしています。水遊びをしているときもいつしよにこにこして、いつも笑っています。妹を見てると、

「ぼくも、夏休みの宿題がんばろう。」

と思わせてくれます。妹ができてからの生活は、毎日がさらに楽しくなりました。

妹は、いつもパンやおかしを食べています。そのパンやおかしのことを少ししゃべれるようになってきました。例えば、パンは指をさして、

「まんま。」

としゃべります。おかしだったら、

「かっか。」

としゃべっています。この一年間で妹は、できることがかなり増えて、すごいなと思いました。新しくできるようになったことを家族みんなでほめると、笑いながらパチパチとはく手をしています。そんな姿もかわいいと思います。

また最近、つかまり立ちをよくするようになりました。まだ少ししかできないけれど、五秒くらいなら何にもつかまらずに立てるようになっているところもすごいなと思いました。生まれたばかりで首もすわっていないかったころの妹と、今の首もすわって、つかまり立ちもできる妹を比べると、かなり大きくなっていると感じてびっくりしました。いつもいつしよにいて、手も足も大きくなったなあとはあまり感じないけれど、改めて写真を見て、手も足も大きくなって、成長しているんだなと感じました。また、ごはんやパンなども前よりも少し多く食べられるようになっていました。妹は、いろいろな食べ物をほとんど好ききらいなくよく食べます。ぼくが好きではない野菜も妹はよく食べます。妹のいろいろな食べ物を食べる姿を見ても、まだ小さいのにできることが多くてえらいなと思います。

ぼくは、いつも笑っている妹に元気をもらっています。いつでもどんなときでも笑っていて元気をくれたり、いろいろなものを食べ

たり元気に遊んだりする生活を、妹には健康でいるために続けてほしいです。ぼくも、妹のようにいつでも笑っていられるようになって、みんなに元気をあげたり、はげましてあげられたりできるような人になりたいです。そして、これから妹が大きくなって、今のぼくと同じ年になっても、今のようにならなくても笑っていて、みんなに元気をあげたり、はげましてあげたりしながら健康でいてほしいなと思います。

妹ができるまでのぼくは、ほとんど自由な生活をしていましたが、妹ができて、少しがまんをしなければいけないことが増えてきました。でもやっぱり妹ができてからの生活のほうが、圧倒的に楽しいです。例えば、つかれて帰ってきたときに、妹が生まれる前は何もなかったけれど、妹が生まれてからは、妹がむかえてくれて、妹の笑っている顔やね顔を見ると、つかれが取れてとっても楽になりました。やっぱり妹ができてからの生活のほうが楽しいので、妹が生まれてくれて、本当に良かったと改めて思いました。また、妹を生んでくれた母にもとても感謝しています。

これから妹が成長して、年をとっても妹自身が健康で、元気いっぱい長生きしてほしいと思いました。これからさらにがまんをしなければいけないこともあるかもしれないけれど、ちゃんと妹のためにもがんばりたいと思います。そして、ぼくも毎日元気で健康に長生きしたいと思いました。これからは、妹だけではなくて、家族も大切にしていきたいです。